

湯河原中学校への給食導入について

< 報 告 書 >

平成 26 年 12 月

湯河原中学校給食検討委員会

はじめに

現在、湯河原町では、中学生の昼食については、ミルク給食を実施し、家庭からの弁当を採用しています。

思春期のこの時期に、親子の絆を築く必要性から、弁当を通して親子のコミュニケーションを図ることで、親への感謝の気持ちの育み、また、親にとっても子どもへの愛情、子育ての自覚など、弁当が果たしている意義は大きいと考えております。

しかしながら、社会情勢等が大きく変化していく中で、ライフスタイルや価値観・ニーズが多様化し、これに伴い、食生活に関しても食の安全性、食の海外への依存や食習慣の乱れ等、様々な問題が生じています。また、日々忙しい生活を送る中、食への感謝の念や理解が薄れ、毎日の食の大切さに対する意識が希薄になってきております。

そのような状況の中、生徒の健全育成の観点から、食に関して見直していくことは重要であると認識しております。また、平成17年には食育基本法が制定され、翌18年に策定された食育推進基本計画では学校給食を活用した食育に係る取り組み方針が掲げられたところでございます。

各家庭で健全な食生活を実施することはもとより、中学校における完全給食の実施をとおして、生徒には栄養バランスや正しい食の知識を習得させるきっかけとし、心身ともに健康で充実した学校生活を送ることを期待するものであり、学校給食法では、小中学校の設置者は学校給食が実施されるように努めなければならないとされております。

こうした状況を踏まえ、教育委員会では、中学校における給食のあり方を検討するため、学校関係者、保護者の代表及び教育委員会事務局職員などにより、平成26年3月に「湯河原中学校給食検討委員会」を設置しました。

また、6月には、小中学校の児童・生徒及び保護者に「中学校給食導入に関するアンケート」を実施し、給食の実施に係る意向を調査いたしました。

検討委員会では、7回に渡る検討会を開催し、中学生にとって好ましい昼食のあり方を中心に、給食に関するアンケート調査の実施や設問について、また、完全給食の効果や課題、湯河原中学校にふさわしい実施方式についての検討、建設コストや運営経費など、給食導入に関する様々な問題について審議してまいりました。

ここに検討結果として中学校給食についての考え方を取りまとめましたので、ご報告いたします。

報 告 書

<検討委員会では、中学校給食について、以下のとおり報告します>

成長期にある生徒に、栄養バランスに配慮した食事を取る手段のひとつとして、給食を導入することは、健康の増進及び体力の向上に効果があるものと期待されます。

食育に関しては、生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に取り組んでいくことが重要となっています。

また、「中学校給食導入に関するアンケート調査」においては、約5割弱の生徒と約9割弱の保護者が給食の実施を希望しており、給食の実施を希望する生徒・保護者のうち、およそ半数の人が自校式調理方式を望んでいるという結果を得ました。

しかしながら、湯河原中学校においては、完全給食を実施するためには、今後、さらなる調査、検討していくことが望まれます。

個別のことに関しては、次ページ以降に考え方や課題について報告いたしますので、十分に検討されることを要望します。

<<<個別事項>>>

1 アンケート調査について

アンケート調査は、町内小・中学校の全保護者（1,598人）、小学5～6年生の児童（362人）及び中学1～3年生の生徒（554人）の合わせて2,514人を対象に実施し、そのうち、保護者は1,188人（回収率74.3%）、児童・生徒は652人（回収率71.2%）から回答を得ました。

主な調査項目は、(1)弁当について、(2)小学校の給食について、(3)中学校の給食について、(4)給食費や維持管理費について、(5)給食の実施方法について、などを無記名回答方式で調査を行いました。

この中で、給食の実施について「希望する」と回答した方は、全体の72.3%でした。また、給食に期待することについては、「栄養バランスや負担の軽減」を、給食の課題については、「食品の安全・安心」についてが高い回答率となりました。

【課題】

- ・給食の実施について希望すると回答した方は、全体の72.3%でしたが、内訳をみると、保護者の86.7%が「希望する」に対し、児童・生徒は46.0%に留まり、大きな開きがありました。

2 実施方式について

アンケートでは、「給食の実施を希望する」と回答した児童・生徒、保護者のうち、「自校調理方式が望ましい」とした回答が、50%を超えており、検討会においても、温かい（冷たい）ものが食べられる、アレルギー体質の生徒や食育などについてきめ細かく対応でき、各方式の中で、最も望ましいと考えられるとの結論です。

【課題】

- ・現在の中学校で自校式を考えた場合、敷地内に給食施設を新たに建設することになるが、中学校の位置が将来もずっと今の場所にあり続けることに疑問を持つ保護者もいるので、親子方式、センター方式などについても、併せて検討対象とされたい。

3 導入時期について

建設費はもとより、栄養士や調理員の配置、維持管理費は、将来に渡って町が負担することとなるので、町の財政状況の中で健全に執行できると判断ができた時期に導入することを望みます。

【課題】

- ・本町の学校施設は、老朽化が進んでおり、給食施設以外の施設においても計画的に整備を進める必要がある。

4 給食費について

食材料費については、給食費として保護者の負担となりますが、給食費については、小学校とのバランスを図り、支払や徴収に関しては、保護者や教職員の負担とならないよう配慮を望みます。

【課題】

- ・現在、小学校では、給食の集金日に学校栄養士が中心となり、保護者代表がクラスで集金した給食費の確認作業等を行っている。集金日以後の入金はその都度学校が行っている。

5 昼食時間及び昼休みについて

現在、昼食15分、昼休み15分となっているが、適正な給食時間、昼休みの設定を望みます。

【課題】

- ・昼食時間が短いと訴える生徒もいます。給食になると、さらに配膳及び後片付けの時間が必要となるが、他の日課への影響が少ないよう考慮していただきたい。

6 食育について

食育を推進していく第一の主体は家庭であることから、家庭への食育啓発を行うとともに、学校や地域においてもサポートしていくことが必要です。

【課題】

- ・完全給食を実施した場合においても、保護者が子どもの健康を考えて作る弁当の持つ意義を否定するものではありません。弁当が家庭における食育の一助となるよう、「弁当を持参する日」などの配慮を望みます。

7 安全で安心できる給食の提供について

安全で安心できる給食を提供するため、万全な衛生管理を行うとともに、「衛生管理マニュアル」及び「食物アレルギー対応マニュアル」等を策定し、きめ細やかな対応をお願いしたい。

また、食材については、可能な限り神奈川県産を主とした地場産品を用いるようお願いしたい。

【課題】

- ・衛生管理に配慮した設備（ドライシステムなど）の導入や栄養教諭、調理員及び教職員への十分な研修が必要となる。

8 人員配置について

給食が導入されると、保護者の負担は減るが、教職員の負担は増えてきます。また、授業時間の確保や部活動をはじめ、他の活動への影響を心配する声もあります。

【課題】

- ・給食の指導と事務等に係る人的配置などの実情を踏まえて、教職員等の負担の軽減や不安の解消に努められたい。また、栄養教諭の県費職員の配置は、生徒数が現在の基準を下回る見込みであるので、町の負担となることが予想されるが、栄養教諭については、必ず配置することをお願いしたい。

9 食の拠点的位置付けについて

センター方式で給食調理施設を新たに整備する場合は、学校給食に限らず食の提供拠点として総合的・拠点的な運用を考慮すべきである。

【課題】

- ・センター方式による給食調理施設を導入する場合、学校給食に限らず、保育園の給食や高齢者の配食サービスなど食に関連する既存行政サービスや災害時の食の拠点、食に関連する新たな地域交流など、食に関する拠点施設として位置づけを検討いただきたい。

資料 1

湯河原中学校給食検討委員会検討経過

回	開催日	内 容
第 1 回	平成 26 年 3 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長・副委員長の選任 ・ 給食実施に向けた課題の抽出
第 2 回	平成 26 年 5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会委員の変更について ・ 前回検討内容の確認について ・ 湯河原中学校給食検討委員会スケジュール(案)について ・ 中学校給食導入に関するアンケート(案)について
第 3 回	平成 26 年 6 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校給食導入に関するアンケート(修正案)について ・ アンケートに添付する参考資料について
第 4 回	平成 26 年 7 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回、第 3 回検討委員会の議事録確認について ・ 中学校給食導入に関するアンケート集計結果について ・ 給食調理方式の検討について
第 5 回	平成 26 年 8 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 回検討委員会の議事録確認について ・ 給食調理方式のメリット・デメリットについて ・ 湯河原中学校にふさわしい給食方式及び時期について
第 6 回	平成 26 年 11 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 5 回検討委員会の議事録確認について ・ 検討委員会報告書の作成について
第 7 回	平成 26 年 12 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 回検討委員会の議事録確認について ・ 検討委員会報告書の取りまとめについて

資料 2

湯河原中学校給食検討委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、湯河原中学校給食検討委員会（以下「委員会」という。）の設置及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 委員会は、中学校における給食について、給食形態、実施方法、実施時期、その他中学校給食のあり方に関する事項に関し調査及び検討し、湯河原町教育委員会（以下「教育委員会」という。）に報告するものとする。

(組織)

第3条 委員会は、委員12名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 中学校校長
- (2) 小学校校長の代表
- (3) 中学校PTAの代表
- (4) 小学校PTA会長の代表
- (5) 小学校栄養士
- (6) 中学校養護教諭
- (7) 教育委員会事務局長
- (8) 教育委員会事務局学校教育課長

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

(協力の要請)

第6条 委員長は、特に必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局学校教育課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、平成26年2月1日から施行する。

(要綱の失効)

2 この要綱は、委員会が所掌事項の処理を完了した日限りでその効力を失う。

資料 3

湯河原中学校給食検討委員会委員名簿

No.	役 職 名	氏 名 等	備 考
1	中学校長	湯河原中学校長 松野 司	H26. 3. 5~H26. 3. 31
		渡井 克昌	H26. 4. 1~
2	小学校長の代表	湯河原小学校長 渡辺 和宏	H26. 3. 5~H26. 3. 31
		松下 俊之	H26. 4. 1~
3	中学校P T A会長	湯河原中学校P T A会長	副委員長
4	中学校P T A副会長	湯河原中学校P T A副会長	
5	中学校P T A副会長	湯河原中学校P T A副会長	H26. 3. 5~H26. 3. 31
			H26. 4. 1~
6	中学校P T A副会長	湯河原中学校教頭 中嶋 一衛	委員長
7	中学校P T A会計	湯河原中学校P T A会計	
8	小学校P T A会長の代表	吉浜小学校P T A会長	
9	小学校栄養士	東台福浦小学校栄養士 岸岡 奈都美	
10	中学校養護教諭	湯河原中学校養護教諭 大塚 真紀子	H26. 3. 5~H26. 3. 31
		神馬 道子	H26. 4. 1~
11	教育委員会事務局長	事務局長 岩本 知三	H26. 3. 5~H26. 3. 31
		高橋 正	H26. 4. 1~H26. 9. 19
12	教育委員会 学校教育課長	学校教育課長 山浦 雅一	H26. 3. 5~H26. 3. 31
		柏木 克己	H26. 4. 1~

(敬称略)

「中学校給食導入に関するアンケート」の集計結果について

I アンケートの概要

1 目的

家庭での弁当、学校給食のそれぞれのメリット、デメリットを踏まえ、中学校給食に対して、生徒や保護者の視点から意見や課題を考慮するとともに、中学生の望ましい昼食のあり方を検討し、中学校給食の実施についての基礎資料とする。

2 調査対象

- (1) 湯河原中学校 1年から3年に在籍する生徒及びその保護者
- (2) 町内全小学校 5年から6年に在籍する児童及びその保護者
- (3) 町内全小学校 1年から4年に在籍する児童の保護者

3 調査内容

- (1) 弁当について
- (2) 小学校の給食について
- (3) 中学校給食について
- (4) 給食費や維持管理費について
- (5) 給食の実施方法について

4 調査期間

平成 26 年 6 月 11 日（水）～6 月 20 日（金）

5 調査方法

無記名回答方式

II 配布・回収状況

(平成 26 年 6 月 27 日現在)

対 象 者	配布数	回収数	回収率
全 体	2,514	1,840	73.2%
保 護 者 計	1,598	1,188	74.3%
中学校保護者（1～3年）	554	344	62.1%
小学校保護者（5～6年）	362	297	82.0%
小学校保護者（1～4年）	682	547	80.2%
児 童 生 徒 計	916	652	71.2%
中学校生徒（1～3年）	554	349	63.0%
小学校児童（5～6年）	362	303	83.7%

Ⅲ 集計結果

- 1 (保護者) 家庭で小学校の給食のことで話題になりますか
 (児童) 家庭で小学校の給食のことで話題になりますか

「よく話題になる」、「たまに話題となる」を合わせると全体で約9割のご家庭で給食の話題となっていることが伺えます。

回答	全体	保護者計		児童計		
		中学生	小学生	中学生	小学生	小学生
1 よく話題になる	32.5%	35.8%	35.8%	23.4%	23.4%	23.4%
2 たまに話題になる	54.3%	54.4%	54.4%	54.1%	54.1%	54.1%
3 ほとんど話題にならない	11.0%	7.8%	7.8%	19.8%	19.8%	19.8%
4 無回答	2.2%	2.0%	2.0%	2.6%	2.6%	2.6%

- 2 (保護者) ***
 (児童生徒) 小学校の給食について、あなたはどのように思いますか (思いましたか)

児童・生徒から、小学校の給食がよい (よかった) との回答は、およそ7割でしたが、悪い (いやだった) も8%あり、今後、具体的な理由の確認が必要かと思われます。

回答	全体			児童・生徒計		
		中学生	小学生	中学生	小学生	小学生
1 よい (よかった)	68.3%			68.3%	67.6%	69.0%
2 悪い (いやだった)	8.3%			8.3%	10.9%	5.3%
3 どちらともいえない	21.9%			21.9%	20.6%	23.4%
4 無回答	1.5%			1.5%	0.9%	2.3%

- 3 (保護者) ***
 (児童生徒) 小学校の給食の量はどうか (どうでしたか)

量に関する不満は全体で27%ありました。必要な栄養摂取量の基準もありますが、今後の課題と捉えるべきと思われます。

回答	全体			児童・生徒計		
		中学生	小学生	中学生	小学生	小学生
1 ちょうどよい (ちょうどよかった)	70.1%			70.1%	70.2%	70.0%
2 多すぎる (多すぎた)	12.6%			12.6%	10.3%	15.2%
3 少ない (少なかった)	14.7%			14.7%	18.1%	10.9%
4 無回答	2.6%			2.6%	1.4%	4.0%

4 (保護者) ***

(児童生徒) 小学校の給食の準備や後片付けはどうか (どうでしたか)

給食の準備・後片付けが面倒との回答は、全体で約3割ありました。

回答	全体	児童生徒		
		中学生	小学生	生徒計
1 楽しい (楽しかった)	26.5%			26.5%
2 面倒だ (面倒だった)	31.1%			31.1%
3 どちらともいえない	40.0%			40.0%
4 無回答	2.3%			2.3%

5 (保護者) お子さんは1週間に何回ぐらい家で作った弁当を持って行きますか

(生徒) 1週間に何回ぐらい家で作った弁当を持って行きますか

週のうち毎日お弁当を毎日持っていく家庭が9割以上でしたが、持って行けないとの回答 (2及び3) も全体で3%ありました。

回答	全体	保護者			児童生徒		
		計	中学生	小学生	生徒計	中学生	小学生
1 毎日	92.5%	94.2%	94.2%		90.8%	90.8%	
2 週に3~4日	3.2%	3.2%	3.2%		3.2%	3.2%	
3 週に1~2日	0.1%	0.0%	0.0%		0.3%	0.3%	
4 時々	0.3%	0.3%	0.3%		0.3%	0.3%	
5 持って行かない	0.9%	0.6%	0.6%		1.1%	1.1%	
6 無回答、その他	3.0%	1.7%	1.7%		4.3%	4.3%	

6 (保護者) お子さんが自分で作った弁当を持って行くことがありますか

(生徒) 自分で作った弁当を持って行くことがありますか

「自分では作らない」が全体では88%でありほとんどを占めていますが、生徒が自分で毎日作っている家庭も2.6%ありました。

回答	全体	保護者			児童生徒		
		計	中学生	小学生	生徒計	中学生	小学生
1 毎日	2.6%	2.6%	2.6%		2.6%	2.6%	
2 週に3~4日	0.6%	0.9%	0.9%		0.3%	0.3%	
3 週に1~2日	0.7%	0.9%	0.9%		0.6%	0.6%	
4 時々	6.8%	6.1%	6.1%		7.4%	7.4%	
5 自分では作らない	88.0%	88.4%	88.4%		87.7%	87.7%	
6 無回答	1.3%	1.2%			1.4%	1.4%	

- 7 (保護者) お子さんに、中学校の給食で一番食べさせたい物は何ですか
 (児童生徒) 中学校の給食で一番食べたい物は何ですか

「給食」との回答は保護者計で約89%でした。児童・生徒計では「給食」が約46%で、続いて「家で作った弁当」が約37%でした。

回答	全体	保護者			児童・生徒		
		計	中学生	小学生	生徒計	中学生	小学生
1 家で作った弁当	18.5%	7.2%	11.2%	5.3%	39.1%	37.3%	39.0%
2 店で売っている弁当やおにぎり、パン類	3.6%	0.3%	0.6%	0.2%	9.5%	10.6%	7.7%
3 小学校のような給食	73.8%	89.3%	81.4%	89.7%	45.6%	41.5%	47.6%
4 その他	2.4%	1.8%	1.7%	1.7%	3.5%	4.8%	1.9%
5 無回答	4.2%	3.7%	5.2%	3.0%	5.1%	5.9%	3.8%

- 8 (保護者) 小学校の給食について良いと思われる点は何ですか (複数回答可)
 (児童生徒) 小学校の給食について良いと思われる点は何ですか (複数回答可)

全体で回答率が高かったものは、「栄養のバランスがよいものが食べられる」約79%、「献立に変化がありいろいろなものを食べられる」63%、「保護者の負担が減る」約60%でした。

回答	全体	保護者			児童・生徒		
		計	中学生	小学生	生徒計	中学生	小学生
1 みんなと同じものが食べられる	37.9%	40.8%		40.8%	34.2%	30.1%	38.9%
2 好き嫌いをなくすきっかけとなる	51.2%	68.0%		68.0%	29.4%	25.5%	34.0%
3 安心安全なものが食べられる	36.2%	37.3%		37.3%	34.7%	31.8%	38.0%
4 栄養のバランスがよいものが食べられる	79.1%	89.5%		89.5%	65.6%	65.3%	66.0%
5 献立に変化がありいろいろなものを食べられる	63.0%	74.9%		74.9%	47.5%	50.7%	43.9%
6 温かいものが食べられる	58.1%	64.8%		64.8%	49.4%	60.5%	36.6%
7 アレルギーの対応ができる	10.2%	9.0%		9.0%	11.8%	9.7%	14.2%
8 自分に合った量が食べられる	18.2%	7.9%		7.9%	31.4%	32.1%	30.7%
9 保護者の負担が減る	60.1%	69.5%		69.5%	47.9%	55.9%	38.6%
10 その他	3.1%	2.1%		2.1%	4.4%	3.4%	5.6%
11 無回答	1.8%	0.9%		0.9%	2.9%	2.0%	4.0%

- 9 (保護者) 中学校の給食に期待することはどういうことですか (複数回答可)
 (児童生徒) 中学校の給食に期待することはどういうことですか (複数回答可)

全体で回答率が高かったものは、「栄養のバランスがよいものが食べられる」76%、「保護者の負担が減る」約63%、「献立に変化がありいろいろなものを食べられる」約62%でした。

	回 答	全体	保護者		児童			
			計	中学生	小学生	生徒計	中学生	小学生
1	みんなと同じものが食べられる	31.0%	32.7%	27.3%	35.0%	27.8%	25.2%	30.7%
2	好き嫌いをなくすきっかけとなる	37.9%	46.6%	39.8%	49.4%	21.9%	20.3%	23.8%
3	安心安全なものが食べられる	39.3%	41.0%	34.9%	43.5%	36.2%	33.5%	39.3%
4	栄養のバランスがよいものが食べられる	76.0%	87.0%	87.8%	86.6%	56.1%	55.0%	57.4%
5	献立に変化がありいろいろなものを食べられる	61.5%	71.8%	66.6%	73.9%	42.8%	43.3%	42.2%
6	温かいものが食べられる	58.0%	64.5%	64.8%	64.3%	46.2%	56.4%	34.3%
7	アレルギーの対応ができる	8.8%	7.5%	5.5%	8.3%	11.2%	10.0%	12.5%
8	自分に合った量が食べられる	17.0%	10.9%	9.3%	11.5%	28.1%	26.9%	29.4%
9	保護者の負担が減る	62.9%	72.6%	66.0%	75.4%	45.1%	52.7%	36.3%
10	その他	3.7%	2.9%	1.2%	3.7%	5.1%	4.6%	5.6%
11	無回答	3.8%	1.3%	1.2%	1.3%	8.3%	6.6%	10.2%

- 10 (保護者) (中学校の) 給食について課題だと思われることは何ですか (複数回答可)
 (児童生徒) ***

全体で回答率が高かったものは、「食品の安全・安心について」約44%、「栄養バランスについて」34%、「給食の量について」約21%でした。

	回 答	全体	保護者					
			計	中学生	小学生		中学生	小学生
1	好き嫌いについて	16.6%	16.6%	13.4%	17.9%			
2	食品の安全・安心について	44.3%	44.3%	44.8%	44.1%			
3	栄養バランスについて	34.0%	34.0%	37.8%	32.5%			
4	アレルギー対応について	16.2%	16.2%	16.6%	16.1%			
5	給食の量について	20.5%	20.5%	22.1%	19.8%			
6	保護者の負担について	15.9%	15.9%	17.7%	15.2%			
7	子どもとのコミュニケーションについて	3.4%	3.4%	4.1%	3.1%			
8	食べ残しなど子どもの健康管理状態について	14.7%	14.7%	16.0%	14.2%			
9	特になし	19.7%	19.7%	21.8%	18.8%			
10	その他	4.6%	4.6%	7.0%	3.7%			
11	無回答	5.0%	5.0%	1.2%	6.5%			

- 11 (保護者) 給食が実施されると配膳時間を確保するため、始業時間や終業時間に影響がありますがどう思いますか
 (児童生徒) 給食が実施されると配膳時間を確保するため、始業時間や終業時間に影響がありますがどう思いますか

「多少はやむを得ない」、「特に問題はない」の回答は全体で約76%でした。

回答	全体	保護者			児童		
		計	中学生	小学生	生徒計	中学生	小学生
1 朝早くなるのは困る	12.1%	4.7%	7.6%	3.4%	25.5%	30.4%	15.8%
2 帰りが遅くなるのは困る	11.3%	3.0%	5.1%	2.1%	26.2%	22.4%	26.4%
3 多少はやむを得ない	38.2%	49.6%	51.3%	47.4%	17.5%	15.7%	16.7%
4 特に問題はない	37.7%	42.1%	33.7%	44.3%	29.6%	24.8%	30.3%
5 その他	1.0%	0.9%	0.6%	1.0%	1.2%	0.8%	1.5%
6 無回答	4.0%	1.8%	1.7%	1.7%	8.1%	5.9%	9.4%

- 12 (保護者) 中学校の給食費はどのくらいが適当ですか
 (児童生徒) ***

全体での回答の約6割が「5,000円」以内との回答でしたが、その他の回答としては、「無料」、「小学校と同額」、「5,000円以上」、などでした。

回答	全体	保護者				中学生	小学生
		計	中学生	小学生			
1 5,000円以内	59.5%	59.5%	53.5%	62.0%			
2 4,500円以内	34.8%	34.8%	41.9%	31.9%			
3 その他	3.8%	3.8%	3.2%	4.0%			
4 無回答	1.9%	1.9%	1.5%	2.1%			

- 13 (保護者) 中学校で給食が実施されると、栄養士や調理の人の人件費、光熱水費や維持管理費など町の税金も多く使われるようになりますが知っていますか
 (児童生徒) ***

自由意見の中で、「未来ある子どもに税金を使うのは当たり前である」などご意見がありました。

回答	全体	保護者				中学生	小学生
		計	中学生	小学生			
1 知っている	73.0%	73.0%	75.9%	71.8%			
2 知らなかった	25.0%	25.0%	21.8%	26.3%			
3 無回答	2.0%	2.0%	2.3%	1.9%			

- 14 (保護者) 中学校給食の実施について
(児童生徒) 中学校給食の実施について

「希望する」との回答は保護者計で約87%でした。児童・生徒計では「希望する」が46%で、続いて「分からない」が約25%、「希望しない」が約23%でした。

回答	全体	保護者計			児童・生徒計		
		中学生	小学生	中学生	小学生		
1 希望する	72.3%	86.7%	76.7%	90.8%	46.0%	45.3%	46.9%
2 希望しない	10.1%	3.1%	6.4%	1.8%	22.7%	21.8%	23.8%
3 わからない	14.2%	8.6%	14.8%	6.0%	24.5%	28.1%	20.5%
4 無回答	3.4%	1.6%	2.0%	1.4%	6.7%	4.9%	8.9%

- 15 (保護者) 実施方法としてはどんな形態が望ましいですか(前問で「希望する」とした方のみ)
(児童生徒) 実施方法としてはどんな方式が望ましいですか(前問で「希望する」とした方のみ)

実施方法としては、自校調理方式が、保護者計、児童・生徒計の双方で約50%でした。その他では「どんな方法でもよい」、「安価な方式」などでした。

回答	全体	保護者計			児童・生徒計		
		中学生	小学生	中学生	小学生		
1 自校調理方式	50.4%	50.7%	49.3%	51.2%	49.2%	50.6%	47.7%
2 センター方式	16.9%	19.0%	19.0%	19.0%	9.0%	8.6%	9.4%
1 デリバリー方式	7.9%	7.4%	9.2%	6.9%	9.6%	8.6%	10.7%
2 ランチルーム方式	17.0%	14.5%	13.4%	14.9%	26.3%	24.1%	28.9%
3 その他	5.1%	5.9%	6.2%	5.8%	2.2%	2.9%	1.3%
4 無回答	2.7%	2.4%	2.9%	2.2%	3.7%	5.2%	2.0%

- 16 (保護者) 中学校給食について(自由意見)
(児童生徒) 中学校給食について(自由意見)

大半が給食導入に関して希望するというご意見でしたが、特に保護者の意見として「給食の方が栄養バランス良い」、「弁当の衛生面の不安」、「同じ給食を喫食できることのコミュニケーション」、「弁当を作ることの負担」、「弁当を持ってこない生徒の心配」など多く寄せられました。

また、現行の昼食時間の短さの心配・不満も保護者、児童生徒の両方から寄せられました。